

<b>授業科目名</b>	人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309)		
<b>時間割名</b>	人間教育学ゼミナール（基礎）(25110)		
<b>時間割担当</b>	森一弘		
<b>実施期</b>	通年	<b>単位数</b>	4 必修 選択
<b>曜日・時限</b>	火・5		

### 授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、体育科教育および野外活動に関する基本的な事項についての理解と演習を行う。体育科教育では、小学校における体育の授業を中心に学校現場の状況や教育の抱える課題を知るとともに教師になるための必要な教職および専門知識について学び、求められる教師像を総合的に理解する。野外活動では、キャンプおよびスキー（冬季野外運動）の計画運営・評価等の方法論について実践を通して学習し、キャンプ・スキーの技術と指導法を習得する。

### 学習の到達目標

??学校現場の状況や教育の抱える課題を知ることができる。

??教師になるための必要な教職および専門知識について学び、求められる教師像を総合的に理解することができる。

??野外生活および野外運動の技術や指導法、安全管理、環境倫理について理解し、実践することができる。

### 授業方法・形式

演習

### 授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 体育科教育の現実的な課題について、各自の問題点を明らかにする
- 第3～5回 各自の課題に基づいて、発表会に向けてレポートを作成する
- 第6～7回 研究発表会を実施し、学習の成果を共有し成果をまとめる
- 第8～9回 野外活動についての、実施計画作りを行う
- 第10～15回 野外実習（2泊3日）（レポートの作成を含む。）
- 第16回 ボールゲームを中心に教材の解釈と指導法について検討する
- 第17～19回 ボールゲームを実際に行い、学年に応じた指導法を知る
- 第20～22回 ボールゲームの指導法についての研究文を作成する
- 第23～24回 野外運動（スキー実習）の実施計画作りを行う
- 第25～30回 野外運動（スキー実習）（2泊3日）（レポート作成も含む）

### 成績評価の基準

平常点50%、グループワーク25%、レポート25%

### 準備学習・復習及び授

授業ごとの内容について事前に課題に取り組んでくる。授業後は、ふりかえりを行い、次の課題を明らかにし、その課題に取り組んでくる。

### 履修上のアドバイス及

実技を伴うため、安全を優先事項として主体的で積極的な活動を期待している。

### 教材・教科書

別途、指示する。

### 参考書

別途、指示する。